

# 2018(平成30)年度事業報告書

(2018(平成30)年4月1日～2019(平成31)年3月31日)

特定非営利活動法人越谷らるご

## はじめに

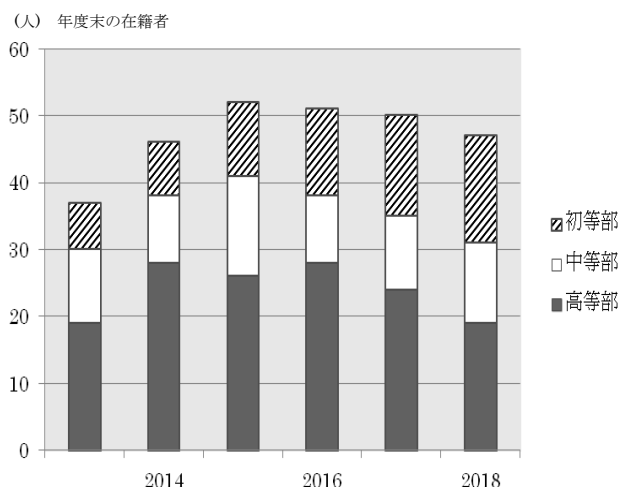
定款に記載された目的および事業の内容を達成するため、事業計画に沿って下記の事業を概ね計画通りに実施した。

2018年度はトイレリフォーム等の環境整備を行い、より使いやすい施設へと改善につとめた。

## 1 事業の成果

### 1) フリースクール事業

フリースクール「りんごの木」の在籍者数は、年間を通して45名程度で推移し、下記のような規模となった。



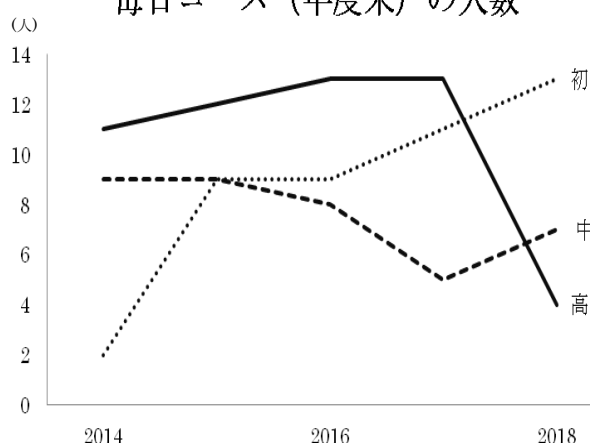
しかし2017年度から続いている高等部メンバーの減少と初等部の子どもの増加がより進み、これまで以上に雰囲気が大きく変わった。

その結果、フリースクールフェスティバルなどの出し物も大がかりではなくなったが、今のメンバーなりの形で楽しみ、音楽発表も幅広い年齢層が舞台に立つなど新たなスタイルで出来た。

スタッフもかつてないりんごの木のメンバー構成と雰囲気に戸惑いつつも、子どもたちの居場所としての役割、一人ひとりを大切にするという、これまで大切にしてきたものは変わらず意識して、現状に合わせてボランティアスタッフの協力等も得ながら携わるように努めた。

活動全体では、体育館やプレーパークへのお出かけ、公園遊びなど、屋外での活発な活動が増えた。一方、けんかやもめごととも日常茶飯事でスタッフが目を離せないことも多かったが、日を重ねるごとに子どもたち同士の絆の深まりも感じることができた。

### 毎日コース(年度末)の人数



### 講座・学習

通信制高校や大学在籍者へのレポート作成や受験勉強等の学習支援、進学に関する情報提供や相談等を個別に実施した。またひるめし食堂や子ども通信の発行なども実施した。

### イベント

誕生日会、お泊り会(3回)、クリスマス会、お別れ会など例年通りの活動を実施したほか、7月には伊豆大島合宿(25名参加)、2月には会津たかつえスキー合宿(29名参加)を実施し、事故などもなく充実した活動ができた。

フリースクールフェスティバルには駄菓子屋出店や音楽発表などで参加した。また2社の民間企業とスポーツを通して交流した。

### 保護者との関わり

保護者会と保護者面談を開催した。また保護者有志によるお茶会が毎月自主的に開催され、保護者同士の交流が深まるきっかけを作った。

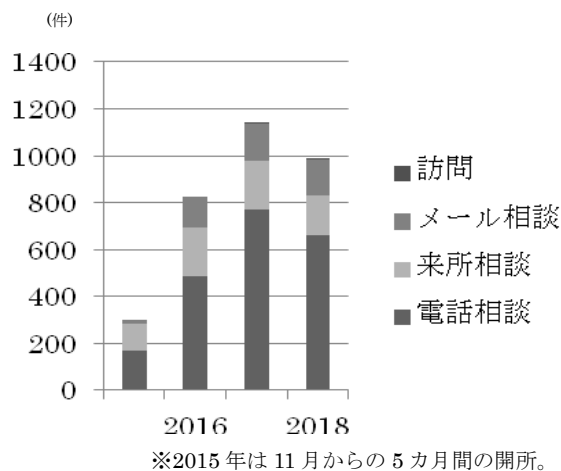
## その他（教育行政との関係）

小中学校の管理職のりんごの木への訪問や教育委員会を交えての学校訪問など、学校や行政とのコミュニケーションを図る機会が増えた。

## 2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業

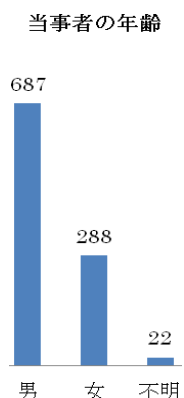
### 「埼玉県ひきこもり相談サポートセンター」

相談活動として、埼玉県の委託事業「埼玉県ひきこもり相談サポートセンター」でひきこもりなどの相談を受けた。相談件数は下記のとおりである。（うち、新規の相談は287件で、2017年度は305件であった）



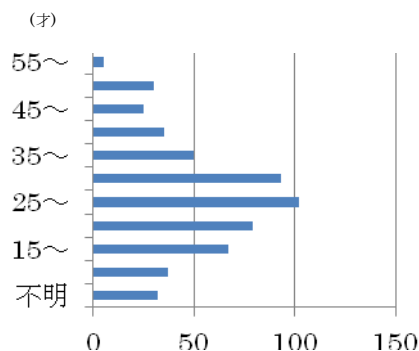
センターでの相談等はすぐに目に見える変化が現れるような活動ではないが、これまで通り、息の長い、地道な活動を通してご本人やその家族の支えになることを大切に活動してきた。

なお、2018年度相談傾向は以下のようなものである。

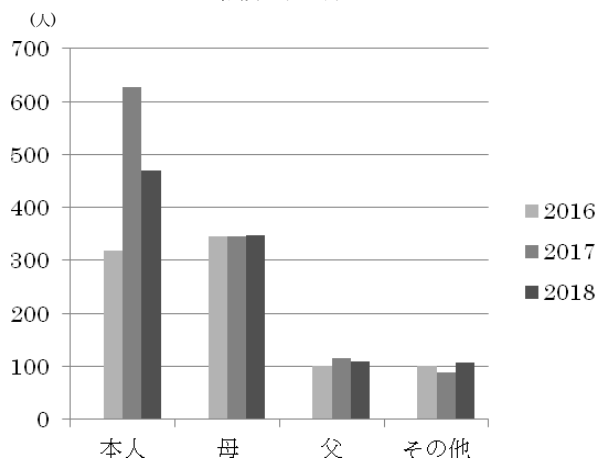


ご本人が男性のケースがこれまでと同様に女性の2倍以上あった。また右上の表のように年齢に関しては、20、30代が多かったが、昨年度よりも幅広い世代からの相談があった。

2 ご本人の年齢（実人数）



3 相談された方



相談された方はご本人からの相談が一番多かったが、母親からの相談数もここ数年横ばいで、次いで多かった。その他の特徴として最近では兄弟姉妹からの相談も増えている。ご本人が高齢化する中で、将来的なことを心配する兄弟姉妹の方が増えているのかもしれない。

相談内容としては何か具体的なアドバイスを求めるというよりも「話を聞いてほしい」というものが多く、次いで「生活改善をしたい」という主訴での相談が多かった。

### 親の会

2017年度と同様に参加者数が安定的に推移し、落ち着いた雰囲気の中で毎月行うことができた。2018年度は学齢期とそれ以上の方の会の2つの名称を「不登校の親の会」「ひきこもりの親の会」として実施した。

### コル〜発達障害とともに生きる会

発達障害周辺の方（家族や当事者）を対象に、交流や情報交換の場として、これまでと変わらない規模で年4回開催できた。

### ほっとりんご（20歳以上の人の居場所）

例年通り、月2回、参加者の希望も聞きながら、カラオケやゲーム、鍋作り、お散歩など多様な活動を実施した。



ほっとりんごでアート中！

2017年度に続き、女性が安心して気軽に参加できるための「女子会」を年4回、実施し、通常の会よりも多くの女性が参加し、好評であった。

## 3) 生涯学習にかかわる事業

講演会活動として、高岡健さんによる発達障害に関する講演会と、ひきこもりをテーマに芹沢俊介さんの講演会を開催した。



↑高岡健さんの講演会の様子

### 「わくわく体験プロジェクト」

—越谷市と地域とNPOの協働事業—

地域やNPO、行政が協働して保護者向けのゲストによる不登校の体験談を聞く会など3回の会を実施した。

## 4) 人権擁護の推進と福祉の増進にかかわる事業(自立援助ホーム)

自立援助ホームゆらいでは、6名の入居者のうち5名が満20歳を迎え、自立準備が集中した年度であった。

計画的に自立準備を進められない入居者や、退居間際に予定や希望の変更をする入居者が多く、ホームとしての支援のあり方を深く考えさせられる1年となった。計画的な自立に向けて、入居中から1人暮らしの体験ができる場(ステップハウス)を確保するため、地域の方と相談する機会を持った。

2018年度は、「全国自立援助ホーム協議会」「埼玉県自立援助ホーム連絡協議会」を中心とした研修や会議、他団体との交流などへ積極的に参加し、ホーム運営や入退居者支援に関する情報共有を行い、業務に反映させることができた。

退居者については、電話やメール・来訪や訪問などを通して、年間で230件の相談等に応じ、継続的な支援を行った。

## 5) 活動のなかで得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業(広報事業)

「越谷らるご通信」は予定通り、りんごの木の保護者等の協力で月1回発行し、活動の告知や成果の報告などを行った。

また活動報告や告知についてホームページやフェイスブック、メールマガジンなどインターネットを通しての発信も継続した。またホームページのリニューアル作業をすすめた。

パンフレットを改訂・発行し、各所に配布した。

その他、埼玉県子ども・若者支援地域協議会、越谷市青少年問題協議会、越谷市自殺対策協議会に委員としてスタッフが出席。埼玉県主催の不登校セミナーにブース出展した他、FMこしがやのラジオ番組に出演した。

## 2 事業の実施にかかわる事項

### 特定非営利活動にかかわる事業

事業名	事業内容	実施場所	支出額
1) フリースクール事業	年間を通して、学校以外の子どもの居場所・出会い・交流・学習の場の提供、活動支援、相談活動、見学・体験入会などの実施、情報提供などを行った。 2018年度は45名でスタートし、11名が新入会し、14名が年度中に退会した。(2019年3月末の在籍：47名。) ニッセイ財団の助成金で音楽機材一式を購入し、活動に役立てた。	本法人の事業所他	12,616  (千円) 以下同様
2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業	<b>親の会</b> 毎月1回、年11回実施した(のべ参加者数：243名)。	本法人の事業所	9,786
	<b>埼玉県ひきこもり相談サポートセンター(埼玉県委託事業)</b> 月・水～土曜日10:00～18:00にひきこもり等に関する相談を電話・来所・メールにて受けた(のべ相談者数：991名)。	本法人の事業所他	
	<b>コル～発達障害とともに生きる会</b> 計4回、互助的な会を開催した(のべ参加者数：48名)。	本法人の事業所	
	<b>ほっとりんご(埼玉県ひきこもり集いの場運営事業)</b> 20歳以上の人の居場所として毎月2回、様々な活動を実施した他、女子会を年4回実施した(のべ参加者数：122名)。		
3) 生涯学習にかかわる事業	<b>講演会・学習会</b> 講演会を2回開催した(のべ参加者数：計116名)。	本法人の事業所	72
	<b>行政と地域との協働事業「わくわく体験プロジェクト」</b> 不登校の体験談を聞く会など、保護者向けの会を3回実施し、年度末に報告書を作成した(のべ参加者数：45名)。	中央市民会館	
4) 人権擁護の推進と福祉の増進に関わる事業	<b>自立援助ホームの活動</b> 家庭での生活に困難を抱える若者の自立支援を行った。2018年度は2名が新規入居、3名が一時保護委託となった。4名が退居し、退居者支援として退居者の来訪、相談、訪問などを行った。(のべ件数：230件)	本法人の事業所	25,932
5) 活動の中で得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業	<b>『越谷らるご通信』の発行</b> 毎月、会員及び関心をもつ方を対象に、11回、メールによる発信を含め、計4,000部ほどを発行し、活動で得られた知見を社会に発信した。	本法人の事業所	389
	<b>インターネットによる発信</b> 不特定多数の方を対象に、毎月1回メールマガジンの発行とホームページの更新、フェイスブックによる発信を随時行った。またIT導入補助金を活用しホームページの改訂作業を行った。	本法人の事業所	
	<b>その他</b> ・パンフレットを改訂し、2000部発行し、配布している。 ・埼玉県主催「不登校セミナー」にブース出展した。 ・埼玉県や越谷市が主催する3つの協議会にスタッフが委員として参加した。 ・ラジオ番組にスタッフが生出演し、活動で得られた知見を話す機会を得た。	本法人の事業所、 埼玉会館 他依頼先	

## 3 運営管理に関する事項

- ・2019年3月末現在、正会員83名(97名)、賛助会員40名(41名)であった。(括弧内は2018年3月)
- ・情報管理が徹底されるよう、毎月、個人情報の管理状況を確認し、事務室の環境を整備した。
- ・広く支援を集めるための取り組みとして、「フリースクールりんごの木子どもサポート基金」「若者自立支援基金」、一般寄付を集める取り組みを継続した。その際、オンラインでの寄付サイトを活用するなどの様々な方法を用いた。また、ネットワーク SAITAMA21 運動より「NPO 応援少額助成」としてカラープリンターの物品助成を受けた。
- ・トイレの改修、エアコンの付け替え、事務室のリニューアルなど環境整備を行った。なお、トイレ回収のための資金としてトイレ募金を募り、45名の方から計517,700円の寄付を受けた。
- ・当該年度の譲渡資産、資産の貸付、役務の提供に関しては該当なし。
- ・給与を得た職員の総数11名。左記職員に対する給与総額30,252,070円